

# 令和 6 年度 県単 諏訪湖等管理事業に伴う釜口水門 運転監視業務 仕様書

この仕様書は、長野県諏訪建設事務所で管理する釜口水門の宿日直業務を適正に行うため、受託者が履行しなければならない業務仕様の大要を示すものである。

したがって、この仕様書に記載のない事項であっても、必要と認められるものについては当然満足するものとし、また、緊急時などその状況により必要と認められる場合は、委託者の指示に従い、特別業務を行うことがある。

## 1 業務場所

岡谷市湊 釜口水門

## 2 履行期間

令和 6 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

## 3 業務概要

(1) 業務時間 宿直 17 時 00 分から翌日 8 時 30 分まで

日直 休日 8 時 30 分から 17 時 00 分まで

(別紙「業務日数計算書」で示す休日)

(2) 人 員 宿直・日直 各 1 名

深夜に頻繁にゲートを操作することが予想される場合は、2 名体制とすることができる。

## 4 業務委託の内容

(1) 管理棟、設備、備品、書類の保全及び施設の監視

ア 管理棟、管理棟内設備、船舶設備、水門周辺の屋外設備（別添「釜口水門平面図（巡視範囲）」参照）及び水門本体について、下記のとおり巡回確認を行うこと。管理棟外の巡視を行う場合は制服を着用のこと。また、火気その他の異常の有無について随時確認すること。

・宿直 管理棟内：最低 4 回、管理棟外：最低 3 回 ※

・日直 管理棟内：最低 2 回、管理棟外：最低 2 回 ※

（巡回時刻の目安は次のとおり。あらかじめ委託者の承認を得て定めること。）

・宿直 管理棟内外 18 時・22 時・6 時、管理棟内 2 時

・日直 管理棟内外 10 時・14 時

※ 管理棟外巡回については、ゲート操作を頻繁に行う場合や、除雪など業務量が多い場合は、省略することができる。

イ 委託者から引き継いだ鍵により管理棟を施錠し、展示室（「水の資料室」）を除く建物内への関係者以外の立入りを厳禁とする。（委託者から特に指示された場合を除く。）

ウ 宿直は、17 時 15 分頃に「水の資料室」の施錠及び消灯し、8 時 30 分頃に開錠及び点灯すること。

エ 岡谷市又は近隣市町村で震度 4 以上の地震が発生した場合、必要となる初動対応のうち委託者の指示があったものについて実施すること。初動対応は（1）アの巡視範囲の巡視による異常の有無の確認、一次点検結果の関係機関への報告を含め別添釜口水門地震対応マニュアルに基づき実施する。

オ 積雪がある場合は、委託者が貸与する除雪機などを使用し、宿直は管理橋・管理道路・歩道橋までの道等の初期除雪（人が通れる幅での除雪）を、日直は管理橋・管理道路の全面と管理棟前駐車場等の除雪を行うこと。（別添平面図の範囲）

## （2）水門機器の操作

ア 調節ゲート（上段扉）を操作し、50  $\text{m}^3/\text{s}$  未満での放流を行うこと。

放流量は流入量と同量となるように操作すること。また、流入量が 8.4  $\text{m}^3/\text{s}$  以下の場合は委託者が指示する量を放流するほか、釜口水門操作規則、及び釜口水門操作細則によるものとする。

50  $\text{m}^3/\text{s}$  以上のゲート放流は委託者が行うが、事前に行う関係機関への通知（FAX 及び電話による連絡）について、委託者の指示がある場合は協力して行うこと。

（ア）ゲート操作は、天候、諏訪湖水位の変動許容幅などについて委託者と引継ぎを行い、委託者の指示のもと受託者が状況を判断して行うものとする。受託者は、夜間あるいは休日に委託者の指示と異なるゲート操作が必要になるものと判断される場合は、あらかじめ委託者に連絡し指示を受けるものとする。また、これによりゲート操作を行った場合には、その記録を作成し委託者へ提出すること。

（イ）釜口水門監視システム・長野県河川砂防情報ステーションで各地の降水量や河川水位を確認する、インターネットの気象情報サイトにおいて今後の雨雲の動きを確認する等、常に天候・河川状況に気を配り、情報収集に努めること。

（ウ）情報収集に基づき、諏訪湖への流入量の増減を判断し、水門からの放流量の増減を決定・操作すること。なお、水門からの放流は、パソコンの表計算ソフトを操作してゲート開度を決定し、演算処理装置に開度を入力してゲート操作すること。

（エ）諏訪湖水位は変動するまでに時間がかかるため、平常時は大幅な放流量の増減を避けること。また、諏訪湖や上流河川にある水位計の変化に注意して、放流量を決定し、ゲートを操作すること。

（オ）放流量が 40  $\text{m}^3/\text{s}$  に達し、今後の気象状況から流入量がさらに増加すると判断したときは、委託者に連絡すること。

イ 通舟依頼に基づき、舟通しゲートを操作すること。ただし、宿日直中に通舟依頼があった場合は、委託者に連絡し、指示を受けること。

舟通しゲートを開閉できる時間は次のとおり。

4月1日から9月30日まで 6:30～17:00まで

10月1日から3月31日まで 7:30～16:00まで

(3) 引継ぎ

ア 平日宿直時は17時から引継ぎを行うこと。

(4) その他の業務

ア 日直は次のデータ記録を行う。

釜口水門気象観測のうち、9:00の天候・積雪量・諏訪湖結氷状況の記録

イ 日直は9時から17時まで発注者の指示に従いダムカードの配布を行うこと。

ウ その他、委託者から特に指示された操作等を行うこと。

(5) 外部との連絡及び文書等の収受

ア 緊急の用務により、外部から委託者あてに連絡があった場合は、速やかに伝達すること。

イ 関係機関から放流量、その他の状況等について問合せがあった場合は、適宜、その状態を知らせるとともに、委託者に報告すること。

ウ 送付された文書・FAXについては、報告のときに一括して委託者へ引継ぐこと。

(6) 異常時等の連絡通報

次に該当する天候状況、機器等に異常などが発生したときは、速やかに委託者に連絡する。

ア 湖水位が急上昇したとき。

イ 釜口水門地点、又は流域内の天候状況が急変したとき。

ウ テレメータ観測による水位及び雨量の観測値が急変したとき。

エ 建設事務所（水防当番）、ファクシミリ（防災無線）等により、長野県中部又は諏訪地域における気象情報（大雨に関する注意報及び警報）を入手したとき。

オ 地震が発生し、ファクシミリ（防災無線）等により岡谷市又は近隣市町村で震度4以上が観測された情報を入手したとき。

カ 水門操作機器、テレメータ観測装置等の水門管理用機器に異常が生じたとき。

キ 外部電源（中部電力㈱から受電）の停止や、異常により停電した場合に、予備発電装置が自動で起動しないとき。

ク 水門本体及びゲート等の施設に異常を発見したとき。

ケ 水門周辺で不審物を発見したとき。

コ 巡視船「わかさぎ号」の緊急使用の申込みがあったとき。

サ その他、非常事態が発生したとき。

(7) 業務報告

ア 業務の記録を別添「宿日直記録簿」に記入し、翌日（委託者の休日となる場合はその

翌日)の宿直勤務終了時に、管理棟鍵とともに委託者に提出し、報告すること。

記録簿の様式は委託者が指定する。

## 5 業務従事者

- (1) 受託者は、実際に宿日直業務に従事する者について、経歴書を添付した書面で事前に委託者に届け出ること。

また、受託者は、実際に従事する者について、健康状態を適切に管理し委託者に報告すること。

- (2) 受託者は、実際に宿日直業務に従事する者が初めて業務に従事する前、及び洪水期の前に、業務の内容について委託者担当職員から研修を受けさせること。なお、研修は委託者の通常勤務時間内に行うこと。

また、受託者が初めて当水門の受託を行う場合は、受託者の責任において、前年度の受託者から入念に引継ぎを行うこと。これらの費用は受託者の負担とする。

## 6 その他

- (1) 常時駐在するための管理棟宿直室を貸与する。宿直室に備え付けの暖房器具は使用することができ、必要な管理棟の光熱水等は委託者が支給する。ただし、必要がない電灯の消灯、暖房器具を切るなど節約に努めること。
- (2) 宿直室、操作室、トイレ及び給湯室等業務にて使用する範囲について清掃を随時行うこと。使用頻度に応じて適宜清掃を行うものとし、週1回以上は実施すること。清掃に際し必要となる用具及び消耗品等は委託者が供与する。ごみは2階事務室のごみ袋にまとめ、必要に応じ岡谷市の規則に従いごみを出すこと。
- (3) 被服、夜間巡回用の懐中電灯、宿日直記録簿及び仮眠用布団は受託者が用意すること。
- (4) 本業務にあたっては、労働基準法及び警備業法など関係法令を遵守し、適正に履行すること。
- (5) 祝日が増減する等宿日直数に変更があった場合、変更対象とする。
- (6) この仕様書に記載のない事項、疑義等がある場合は、委託者と協議すること。
- (7) 本業務は、労働基準法第41条「断続的労働に従事する者に対する適用除外」の許可条件を満たす業務であることと、最低賃金法第7条「最低賃金の減額の特例」の第4号の許可条件を満たす業務であることを想定し積算を行っているが、受注者の労働形態や支払賃金を拘束するものではない。
- (8) 本設計書は予定価格算出のため、技術者区分は運転管理業務の実働内容が最も近い「警備員」を採用し、運転管理業務の経験が警備業務の経験に相当するとして経験年数3年以上である技術者区分の「B」を採用しているが、「建築保全業務積算要領」に定めるとおり、技術者が当該業務を実施することを拘束するものではないことに留意すること。

- (9) 委託者は水門操作方法、 $50\text{m}^3/\text{s}$  以上放流時の関係機関への連絡通知、地震時の一次点検方法について年度当初に説明を行うので、受託者は出席すること。

## 7 添付書類

- (1) 釜口水門位置図
- (2) 釜口水門平面図（巡視範囲）
- (3) 釜口水門平面図（除雪範囲）
- (4) 管理棟各階平面図
- (5) 運転監視業務記録簿
- (6) 釜口水門地震対応マニュアル